

## 【実践③ 英語コミュニケーションⅠ 領域：話すこと〔発表〕】

### 1 日時・実施場所

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇限 (〇〇:〇〇~〇〇:〇〇)

〇〇〇〇 Room

### 2 学 級

普通科 第1学年〇組 (〇〇名)

### 3 学 級 観

素直で明るい生徒が多い。表現活動は活発に行うが、語彙や表現等の知識が不足しており、言語運用の多様性と読解力が課題と言える。さまざまな活動を通して好奇心を刺激し発信力を伸ばしつつ、言語を適切に活用する力と、まとまった量の情報からの的確に要点と概要を捉える力を涵養したい。

### 4 教 材

(1) 教科書 〇〇〇〇 English Communication I (〇〇出版)

単元名 Lesson 〇 〇〇〇〇

(2) 補助教材 ナビゲーションノート, ワークブック (〇〇出版)

別冊ブックレット (作成)

### 5 単元の目標

平和活動家マリールイズ・カンベンガとルワンダ内戦に関する英文を読み、概要や要点を把握し、平和の尊さと教育の重要性を理解する。さらに、多様な素材と言語活動を組み合わせ、国際的な課題である難民問題や多文化共生を自分事として捉える。「共に生きる」ために自分たちができることを考察し、アイデアを企画書にまとめ、英語でプレゼンテーションをして発信することができる。

### 6 関係する領域別目標 (学年のCAN-DO)

聞くこと	事物の紹介や対話, 説明などを聞き, 情報や考えの概要を捉えることができる。
読むこと	400~600語程度の英文を初見で読み, 概要, 要点, 詳細を捉えることができる。
話すこと 〔やり取り〕	社会問題について, 情報を交換したり意見を交わしたりすることができる。
話すこと 〔発表〕	社会問題について, グループ・ディスカッションやプレゼンテーションの場で, 具体例や理由とともに, 自分の意見を表現することができる。
書くこと	情報を集め, 事実やそれに対する自分の考えについて, 簡潔な文章を40語程度の英語で書くことができる。

### 7 単元の評価規準 (五つの領域ごとの評価規準の設定)

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	[知識] テーマに関する英文を聞き取るために必要な語彙・表現を理解している。 [技能] テーマに関する英文を聞き取る技能を身に付けている。	テーマに関する英文を聞いたり, 補助的な関連資料の動画を視聴したりして, 概要や要点を捉えている。	テーマに関する英文を聞いたり, 補助的な関連資料の動画を視聴したりして, 概要や要点を捉えようとしている。
読むこと	[知識] 英文を読み取るために必要な語彙や, 分詞を伴う表現を理解している。 [技能] テーマに関する英文を読み取る技能を身に付けている。	紛争に関する英文だけでなく, 関連するテーマについての追加資料を読み, 概要や要点を捉えている。	紛争に関する英文だけでなく, 関連するテーマについての追加資料を自主的に読み, 概要や要点を捉えようとしている。

話すこと [やり取り]	<p>[知識] 紛争や難民問題, 多文化共生について, 意見を交わすための語彙や表現を理解している。</p> <p>[技能] 紛争や難民問題, 多文化共生について, 情報や意見を交わすための技能を身に付けている。</p>	聞き手に自分の意見をよく理解してもらえるよう, 紛争や難民問題, 多文化共生について, 見聞きしたり読んだりしたことを活用しながら, 意見を交わすことができる。	聞き手に自分の意見をよく理解してもらえるよう, 紛争や難民問題, 多文化共生について, 見聞きしたり読んだりしたことを活用しながら, 主体的に周囲と意見を交わそうとしている。
話すこと [発表]	<p>[知識] 多文化共生について発表するための語彙や表現, ディスコースマーカ一等を理解している。</p> <p>[技能] 多文化共生を目指した取り組みのアイデア・企画について, 具体的に話し伝える技能を身に付けている。</p>	多文化共生のために自ら考えたアイデア・企画について, 調べたり見聞きしたり読んだりしたことを活用しながら, 聞き手に自分の意見をよく理解してもらえるよう, 口頭で発表することができる。	多文化共生のために自ら考えたアイデア・企画について, 調べたり見聞きしたり読んだりしたことを活用しながら, 聞き手に自分の意見をよく理解してもらえるよう, 口頭で発表しようとしている。
書くこと	<p>[知識] 情報や自分の考えを書いて伝えるために必要な語彙, 表現, ディスコースマーカ一等を理解している。</p> <p>[技能] 多文化共生のために自分たちにできることのアイデア・企画を, 書いて伝える技能を身に付けている。</p>	多文化共生に向けて自ら考えたアイデア・企画について, 調べたり見聞きしたり読んだりしたことを活用しながら, 読み手に自分の意見をよく理解してもらえるよう, 具体例とともに書いて伝えることができる。	多文化共生に向けて自ら考えたアイデア・企画について, 調べたり見聞きしたり読んだりしたことを活用しながら, 読み手に自分の意見をよく理解してもらえるよう, 具体例とともに書いて伝えようとしている。

## 8 パフォーマンステスト

○領域

話すこと [発表]

○内容

「多文化共生に向けて自分たちにできること」：アイデア・企画を具体的かつ論理的に口頭で伝える。

○採点の基準

	主体的に学習に取り組む態度		思考・判断・表現	
	<b>[Attitude]</b>	<b>[Voice]</b>	<b>[Logic]</b>	<b>[Quality]</b>
<b>a</b> (5点)	原稿から目を上げてアイコンタクトをとり, 堂々とした態度で発表しようとしている。	声の大きさ, ジェスチャーなど, 聞き手が聞きやすいよう配慮した上で, 自分の意見をしっかりと伝えようとしている。	詳細な具体例とともに, 論理的に発表している。	内容が独創的で興味深く, 聞き手に訴えかけるプレゼンになっている。
<b>b</b> (3点)	原稿に視線を落とすことがたびたびあるものの, アイコンタクトに留意して発表しようとしている。	声の大きさに気を付け, 自分の意見を伝えようとしている。	論理性や具体性にやや欠ける部分もあるが, プレゼン内容は理解できるものである。	内容が興味深い。
<b>c</b> (1点)	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。

「十分満足できる」状況と判断されるもの : a  
「おおむね満足できる」状況と判断されるもの : b  
「努力を要する」状況と判断されるもの : c

今回は1年生で初めて実施するプレゼンであり, 「主体的に学習に取り組む態度」を重視したため, このような配置とした。内容や論理性を重視する場合は「思・判・表」を左に書くとい。

9 単元の指導計画

※網掛けは記録に残す評価の場面。

(聞…聞くこと, 読…読むこと, や…話すこと [やり取り], 発…話すこと [発表], 書…書くこと)

時間	■ : ねらい ○数字 : 言語活動等	内容のまとめ					【 】 : 生徒の活動状況を見届ける 観点○ : 方法
		聞	読	や	発	書	
1	<p>■単元の目標を確認する。</p> <p>■テーマへの興味関心を高める。</p> <p>①タイトルを読み, 自分にとっての Peace とは何かを考え, ペアやグループで発表し合う。</p> <p>②初見で全文を読み, 内容に関する選択問題に答える。</p> <p>③ “Where is she from?” “Do you know where it is?” 等, 教師が内容に関して問いかけたことを基に, ルワンダやアフリカに目を向ける。Rwanda Quiz に取り組む。</p> <p>④生徒各自がインターネットでルワンダについて調べ, 4人グループで情報を共有する。</p> <p>⑤教師が情報を補足する。アフリカの地図で位置を確認し, ジェンダーギャップ指数が高いことや日本との関係等, 生徒が気づきにくい情報を補う。</p>				○	○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】概要や要点を適切に捉えているか。</p> <p>【態】積極的にグループワークに参加しているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>
2 5	<p>■各パートの内容を捉え, Logic Flow に表して相手に伝えることができる。</p> <p>①教科書の英文を読み, 概要や要点を捉える。</p> <p>②新出語句を音読し習得する。</p> <p>③内容に関する Q&amp;A に答える。</p> <p>④文法事項を確認する。</p> <p>⑤概要・要点を Logic Flow で視覚的に表す。</p> <p>⑥学んだ知識を用い, ペアでリテリングする。</p>	○	○	○	○	○	<p>【知】語句や表現を習得しているか。</p> <p>【思】概要や要点を適切に捉えているか。</p> <p>【態】概要や要点を適切に捉えようとしているか。また, 習得した知識を積極的に活用し, 相手に伝えようとしているか。</p> <p>○補助教材「ナビゲーションノート」</p> <p>○Logic Flow シート</p>
6	<p>■章末活動の説明, 目標の確認</p> <p>■グループで協働しながら「世界紛争マップ」を作成し, 世界の情勢を知る。</p> <p>①地域を分担し, 各自インターネットでのリサーチを基に, メモを付箋に書く。</p> <p>②付箋を世界地図上に貼りながら各地域の情報を共有し, マップを完成させる。</p> <p>③たくさんの付箋が貼られた世界地図を見て, 歴史上, 紛争が途絶えたことがないという事実と向き合い, 感想を述べ合う。</p>	○				○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】重要な情報を精査し, 相手に伝えることができるか。</p> <p>【態】重要な情報を精査し, 相手に伝えようとしているか。また, よりよいマップを作ろうと, 主体的にグループワークに関わっているか。</p> <p>○メモの内容</p> <p>○マップの完成度</p> <p>○活動の観察</p>

7 8	<p>■紛争から難民問題へ目を向け、世界の問題を自分事として考える。</p> <p>①難民に対する印象や認識の事前確認をする。</p> <p>②動画“Most Shocking Second a Day”を視聴した後、ペアでリテリングをする。</p> <p>③自分事として捉え想像するタスクに取り組む。</p> <p>④難民について英文サイトで具体的なデータを読み解き、実態を知る。</p> <p>⑤英文のヒントを読み、難民だった著名人を当てるクイズに取り組む。</p>	○	○	○	○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。また、英語のサイトを見てデータを的確に読み取ることができるか。</p> <p>【思】視聴した内容を論理的かつ簡潔に口頭で伝えることができるか。</p> <p>【態】英文サイトを見て、データを的確に読み取ろうとしているか。また、視聴した内容を論理的かつ簡潔に口頭で伝えようとしているか。</p> <p>○ワークシート ○活動の観察</p>
9	<p>■追加資料を読み、問題を多角的に捉える。</p> <p>①さまざまな素材をグループで協力して読み、概要や要点を捉える。</p> <p>②読み取った内容を共有する。</p> <p>③語彙・表現を習得する。</p> <p>④感想や意見をグループで話し合った後、英文で書く。</p> <p>⑤記事のひとつに関連して、古着回収ボランティアの是非を考え、話し合う。</p>	○	○	○	○	<p>【知】語句・表現を習得しているか。</p> <p>【思】概要や要点を適切に捉えているか。</p> <p>【態】概要や要点を適切に捉えようとしているか。また、自分の考えを積極的に伝えようとしているか。</p> <p>○ワークシート ○活動の観察</p>
10 12	<p>■多文化共生のために自分たちができることを考え、企画書にまとめ、発表することができる。</p> <p>■校外のコンペに応募することにより、チャレンジ精神や発信する力を養う。</p> <p>①大学生の具体例を動画で視聴した後、グループで意見を出し合う。</p> <p>②出されたアイデアについて、グループでディスカッションを行う。</p> <p>③UNHCR主催「みんなの未来そうぞうコンペ」～共に生きること～ アイデアペーパーをグループで作成する。</p>	○	○	○	○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】具体的かつ論理的な企画書になっているか。</p> <p>【態】課題に向き合い、よりよいアイデアを考えようとしているか。また、具体的かつ論理的な企画書にしようと、積極的に話し合いをしているか。</p> <p>○アイデアペーパー ○活動の観察</p>
13	<p>■プレゼンの留意点を踏まえた上で練習し、よりよいプレゼンにしていく。</p> <p>①プレゼンのルーブリックを確認し、見本として日本人のTED Talksを視聴する。</p> <p>②アイデアペーパーを基に、プレゼンの構成、アウトライン、メモ等の準備をグループで進める。</p> <p>③プレゼンの練習をする。タブレットで撮影し合い、互いに振り返りと改善を重ねる。</p>	○	○	○	○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】論理的かつ簡潔に伝えることができるような構成か。</p> <p>【態】グループで協力し、より質の高いプレゼンにしようと努めているか。</p> <p>○プレゼンのメモ ○活動の観察</p>
	■定期考査	知 思	知 思			知 思

14	<b>■パフォーマンステスト</b> ①多文化共生のために自分たちができることは何か、具体的なアイデアと企画を発表する。撮影し、ロイロノートで提出する。 ②聞き手は、評価シートに評価とコメントを書き、発表者に還元する。(相互評価)	○			思 態	○	※採点基準はルーブリックに基づき予め生徒に提示する。「8 パフォーマンステスト」を参照。
15		○					○
	<b>■活動全体の振り返り</b>			○		○	○振り返りシート (ワークシート回収)

14・15 時間目は以下のような展開も可能です

■合同セッション (2~3クラス合併)

①発表ブースを複数設置し、発表時以外は聞き手としてプレゼンを見て回る。

②聞き手は評価シートに評価とコメントを書き、発表者に還元する。(相互評価)

## 10 本時の目標

多様な人々と共に生きるために自分には何ができるか、その具体的なアイデアを論理的に堂々と発表することができる。

## 11 本時の展開 (15 / 15 時間)

時間	指導過程	生徒の学習活動	【指導の目的】、指導上の留意点・支援等
5分	本時の説明 配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の流れと注意事項を確認する。</li> <li>・ルーブリックを確認する。</li> <li>・配置につく。</li> </ul>	<b>【本時の目標を確認させる】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーブリックをしっかりと確認させる。</li> </ul>
7分 × 5回	プレゼンテーション	<p>&lt; 1クールの流れ &gt;</p> <p>4分： グループ・プレゼン (タブレットでキーワードを示す)</p> <p>↓</p> <p>2分： 聞き手は評価とコメントを用紙に記入し、発表者に渡す。</p> <p>↓</p> <p>1分： 移動・交代</p>	<b>【よい聞き手も育てる】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの場をよりよい空間にするためには、話し手だけでなく聞き手の態度も重要であると伝える。</li> <li>・生徒がコメントシートを手渡す際、「お疲れさまでした」に当たる労いの言葉を英語で言うことで、あたたかな学びの場を作る。</li> </ul>
8分	活動全体の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックレット巻末「振り返り」の記入</li> </ul>	<b>【学びの成果を実感させる】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り英語で書くよう促すが、どうしても難しい箇所は日本語で書いてもよいこととする。</li> <li>・自分と向き合う時間を生徒にもたせ、学びから得られた変化や成長に気付かせる。</li> </ul>
2分	まとめ ブックレット提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による総括のコメントを聞く。</li> <li>・ブックレットを提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りをするにより、授業でのがんばり(プロセス)から生徒が自信をもつことができるよう、全体に声かけをする。</li> </ul>

( ※次ページ添付資料：活動全体のワークシート )

## 12 御高評



# CONFLICT, REFUGEE AND COEXISTENCE



---

GRADE 1 / CLASS / NO.

NAME

---

# I Outline

## 1. Purpose of the Activity

- 1) To think conflicts, peace and diversity as our own things
- 2) Not only to learn about social problems but also to think about the ways of solving them
- 3) To build a positive attitude toward cultural diversity
- 4) To improve 4 skills to learn English (reading, writing, speaking and listening) by learning global issues and communicating with other students

## 2. Lesson Plan

	Goal	@ Class	@ Home	Evaluation	Skills
I	【導入】	活動全体の説明 : 目的、プロセス、最終目標の確認			
II	【世界紛争マップ を作ろう】	1) 地域を分担 2) リサーチ→付箋にメモ 3) シェア→マップ作成	<BYOD> <グループワーク>	活動の観察 Worksheet	W S
II I	【紛争から 難民問題へ 目を向ける】	1) 難民に対する認識の事前確認 2) 動画 “Most Shocking Second a Day” →リテリング 3) 自分事としてとらえるタスク、想像するタ スク 4) 実態を知る (リサーチ、英語データの読み取 り)	<ペアワーク> <グループワーク> <BYOD>	新聞、TV、ネッ ト等でニュース に 触れる 活動の観察 Worksheet	W S R
IV	【ALT 特別講座】		<ペアワーク等>	活動の観察 Worksheet	LR S W
V	【問題を多角的に とらえる】	1) Additional Reading 多様な素材に触れる 2) 読み取った情報のシェア 3) ポキャブラリーの習得	<ペアワーク> <グループワーク> <BYOD>	授業で読めな かった記事を 読む 活動の観察 Worksheet	R S
VI	【考察】	多様な人々と共に生きるために何ができるか 1) 個人で考察 2) グループでディスカッ ション	<ペアワーク> <グループワーク>	家族と意見を 交わす 活動の観察 Worksheet	W S
VII	【プレゼン】	1) 見本 (日本人 坂茂氏の TED) 視聴 2) 原稿ライティング 3) スピーチを磨く: 練習→撮影→改善→練 習 4) グループ・プレゼン=ロイロ提出 (発表 4分→相互評価 2分→移動 1分)	<ペアワーク> <グループワーク> <BYOD>	スピーチ練習 表現・語彙の 習得 活動の観察 Worksheet (原稿ライティング) <u>プレゼン</u>	L S W
VIII	【Presentation Day】	1) 1クラス or 2-3クラスでセッション形式 2) 会場に複数の発表場所を設置 (タイマー同時進行、1クール7分) 3) 聞き手は座る or 自由に見て回る 4) 評価シートに記入し、発表者に還元	Poster Session 形式		
IX	【まとめ】	活動全体の振り返り		Worksheet 振り返りシート	S W

II  
Let's Make a "World Conflict Map"





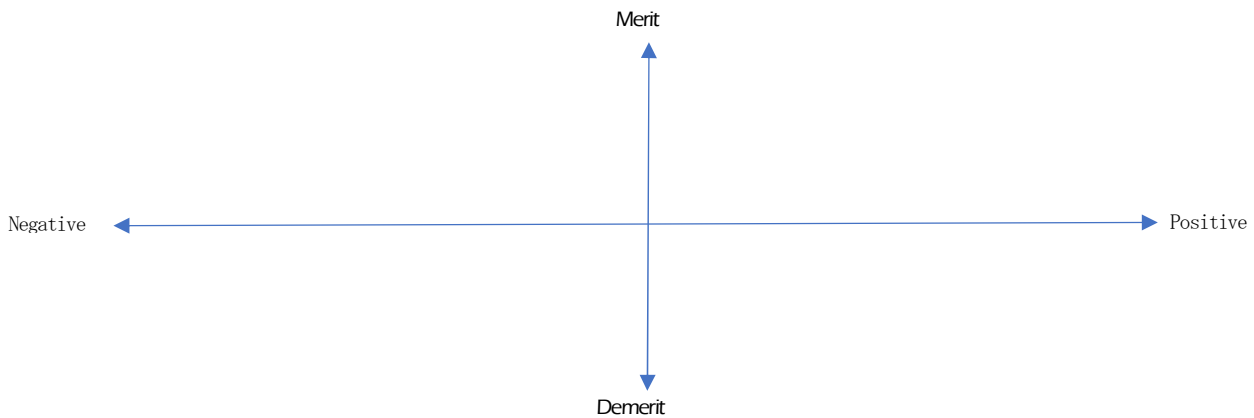
### III

## The Problems of Refugee

**Task 1** The definition of the word “refugee” in English-English dictionaries:

a person who has been forced to leave their country or home, because there is a war or for political, religious, or social reasons  
*<Oxford Learner's Dictionaries>*

**Task 2** Q1) What kinds of words come to mind? Is the word positive or negative?  
Q2) What are merits and demerits of accepting refugees?



Q3) Do you agree with accepting refugees in your town? Why/Why not?

**Task 3** “The Most Shocking Second a Day”

<https://www.youtube.com/watch?v=R8Q1oHf1mQ>



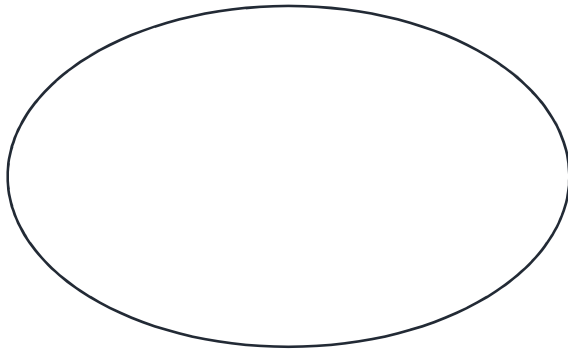
【 Retelling with Key Words 】

1	2	3	4
→		→	

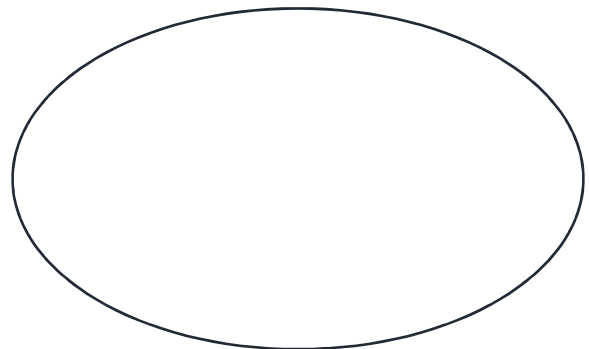
【 What do you think of this short movie? 】

**Task 4** If you had to escape from your country ...

1) ★What would you take with you?



★How about refugees in the photo?



[https://www.huffingtonpost.jp/2015/09/08/syrian-refugees-reveal-bags\\_n\\_8104814.html](https://www.huffingtonpost.jp/2015/09/08/syrian-refugees-reveal-bags_n_8104814.html)



2) Where would you go? And why?

Where	Why



**Task 5** Information Research

1), 2) <https://www.unhcr.org/figures-at-a-glance.html>

1) The Number of people who were \*forcibly \*displaced at the end of 2021 :  
強制的に 移住させられる

2) Major Countries in 2021

<\*Source Countries> \*出身国

1	
2	
3	
4	
5	

<\*Hosting Countries> \*受入国

1	
2	
3	
4	
5	

3) Refugee Recognition Rate in 2021

[https://www.refugee.or.jp/refugee/japan\\_recog/](https://www.refugee.or.jp/refugee/japan_recog/)



Country	Number of Recognition	Rate of Recognition
Germany	38,918 (人)	25.9%
( )	33,801	62.1%
France	32,571	17.5%
USA	20,590	32.2%
( )	17,703	63.4%
( )	74	( )%

**Task 6** Famous Persons Who Were Refugees

(※著作権のため写真は掲載いたしません。)

Albert Einstein の写真	Vahid Halilhodžić の写真	Freddie Mercury の写真	Morozoff の チョコレートの 写真
●	●	●	●
●	●	●	●
<b>Feodor D. Morozoff</b>	<b>Albert Einstein</b>	<b>Vahid Halilhodžić</b>	<b>Freddie Mercury</b>
●	●	●	●
●	●	●	●
He and his family escaped from Zanzibar, where the conflict between races got worse. They reached England and he became a super star.	He and his family escaped from Germany in 1930s because they were Jews. If he had not gone to the USA, his life might have ended in a concentration camp.	In the middle of the Russian Revolution, he, a rich merchant, left the country to escape from *persecution.*迫害 He lived in Kobe in 1922 and began a pastry shop.	In Bosnia and Herzegovina, he was attacked by a nationalist because he was against the war. He went to France and became a famous soccer coach.

<https://www.refugee.or.jp/refugee/famous/>

★ What did you learn? How did you feel?  
Make notes to remember it ↓↓↓

**① Ukrainian refugee family in Fukuyama City**

2022/04/12 【TSS テレビ新広島】ウクライナから福山市に避難した家族

[https://www.youtube.com/watch?v=ltu\\_uAwg4Y](https://www.youtube.com/watch?v=ltu_uAwg4Y)**② “顔の見える” 難民とともに。カラフルな日本の未来をつくる**

WELgee 10月 09, 2020 by 伊藤智子 in インタビュー

<https://ideasforgood.jp/2020/10/09/welgee-interview/>**③ Nobel winner Malala opens school for refugees**

(※著作権のため記事は掲載いたしません。)

*The Japan Times ST: July 24, 2015*<https://st.japantimes.co.jp/news/?p=wo20150724>**④ 9 in 10 support opening doors to Ukrainian refugees**

(※著作権のため記事は掲載いたしません。)

[https://www.ego-net.jp/easy\\_readings/easy\\_readings-1790](https://www.ego-net.jp/easy_readings/easy_readings-1790)**⑤ Ukrainian YouTubers Ask Japanese to Help Ukraine**

April 03, 2022

(※著作権のため記事は掲載いたしません。)

<https://learningenglish.voanews.com/a/ukrainian-youtubers-ask-japanese-to-help-ukraine/6510031.html>**⑥ Helping Refugees Flourish ~Sustainability Report 2021~**

(※著作権のため記事は掲載いたしません。)

<http://www.uniqlo.com/jp/en/contents/sustainability/report/2021/refugee>

## VI What Can "I" Do?

Reference 1) 多文化共生プレゼンコンテスト 2019 優秀賞 東京外国語大学 長谷部ゼミ・土田ゼミ  
<https://www.facebook.com/tokyopresen2019/videos/>



Reference 2) 公益財団法人 東京市町村自治調査会  
<https://www.tama-100.or.jp/>



### 【Idea Notes】

If a young refugee comes to your class,  
what can you do for him/her?

If a family of refugees moves in next door,  
what kind of help is necessary for them?

What is missing for foreigners in our community?



# Youth UNHCR



## みんなの未来そうぞうコンペ ～「共に生きる」こと～ アイデアペーパー

提出期限：2022年10月27日（火）23:59

\*WordをPDF化して提出してください

\*PDFファイルのタイトルに、ご自身の氏名をいれてください

例：「アイデアペーパー\_山田太郎」

### 1. 基本情報（団体参加の場合は代表者）

氏名	(フリガナ)	活動拠点	都道 府県
e-mail		年齢	
所属（学校名や会社名）	(フリガナ)		

### 2. 団体名・メンバーの氏名・年齢（団体参加のみ）

\*メンバー人数に制限なし

団体名			
(フリガナ)			
氏名	年齢	氏名	年齢
(フリガナ)		(フリガナ)	
(フリガナ)		(フリガナ)	

3. 企画タイトル（絵文字・記号使用不可）と企画概要（300字以内）

タイトル	
企画概要	

4. 企画の背景・期待されるインパクト（500字以内）

--

5. 企画の詳細（800～1600字以内）

目的/対象/手段/具体的な計画/実現のために必要な資源（人やモノなど）

## VII Presentation

---

---

**Title:**

**Introduction**

**Body 1**

**Body 2**

**Conclusion**





